

法人理念	✨キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✨保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✨職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週木曜日15時～16時45分	送迎	無	おやつ	手作りおやつ有
支援方針	テーマ「大きさ」です。「考える事の発達」 身近な物の大きさの違いに気づき比較し対の関係の理解を深める。						

項目	支援内容
本人支援	健康・生活 体調管理に気を付けて過ごせるようにする自分で身 ・残暑の厳しさで疲れが出ないように体調管理に気を付けて過ごせるようにする。保護者の方と情報を共有する。 ・生活の流れが分かり、見通しを持って生活できるようにする「手を洗う」「スプーンを取ってテーブルにおく」「ピッチャーからコップにお茶を注ぐ」「おやつを食べる」「机を拭く」「うがいをする」「片付ける」の一連の流れが身につく。
	運動・感覚 物の大きさや高さ、長さの違いに気付く ・「3匹のやぎのがらがらどん」の絵本を通して大きなヤギの歩き方や小さいヤギの歩き方など大きい、小さいを自分で考えてごっこあそびを楽しんでいく。 ・段ボール積み木やカプラなどを高く積み上げる。また沢山の紙をノリで貼り重ね「長い」「短い」を感じ、友だちの物とも比べていく。 ・クラスの友だちや小学生のお友だちと背を比べる。自分の背の高さのテープを壁に貼ったり、足形を比べる。 ・ジャングルジムやすべり台、ブランコ、鉄棒など固定遊具を通してからだを動かす
	認知・行動 大きさを比べたりする ・(大きい、小さい)2つを比べ 大きい、小さいを分けていく。また入れ子、マトリョーシカの玩具を使って大きさを順に並べる、入れる、積み上げるあそびも行う。コーナーにサイズの違う洋服を置き、自分のからだに合うサイズ「ちょうどいい」「ぴったり」を探す。 小さい小鳥小屋を木に飾る。
	言語コミュニケーション 大きさの違いを言葉で話す ・(大きい、小さい、長い、短い)「おおきい」「ちいさい」「たかい」「ひくい」「ながい」「みじかい」「ちょうどいい」などあそびながら表現する。 小鳥小屋を観察する。
	人間関係社会性 友だちと一緒に簡単なルールを守ってあそぶ楽しさを知る ・ルールのあるあそびを友だちや担任と一緒に楽しむ (ハンカチ落とし・だるまさんがころんだ・ジャンケン列車・はないちもんめ・いす取りゲームなど) 園外散歩に出かける 落ち葉や虫を見つけたり身近な自然物に興味を持ったり、秋を感じる。 ・近所の方に挨拶をする・公園でしっぽとり、かけっこを楽しむ
歌・絵本など	絵本 3匹のやぎのがらがらどん ふたりいっしょだねちいまくん そらまめくんのベッド こすずめのぼうけん わらべうた なべなべそこぬけ はないちもんめ おちやをのみにきてください どんぐりころちゃん うた おおきなくりの木の下で とんぼのめがね どんぐりころころ
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	・近所の方に挨拶をする
家族支援	モニタリング 個別支援計画
職員の質の向上	・大阪府サービス管理責任者基礎研修 ・PECSワークショップ研修 エルム大阪「豊かなことばを育むために」 談支援従事者初任者研修
主な行事等	避難訓練 (火災) 9月25日